

## 目指す子どもの姿(4つのC)について

本校の6年間で「目指す子どもの姿」を数値化(質問に対して「とてもあてはまる あてはまる あてはまらない まったくあてはまらない」の4点で回答したものを得点化し平均値を示す)しているものです。次年度の取り組みに活かしていきます。

4つのC(力)に関する質問項目一覧				2月	
				全学年	
4つのC	見出し	番号	項目	平均	項目ごと平均
(見通す力)	夢・目標	1	将来の夢や目標を持つことができる。	3.12	3.47
	計画	3	物事に取り組むときに、計画を立てることができる。		2.87
	振り返り	17	学んだ結果、よく分かったこと、あまり分からなかったことを整理することができる。		2.90
	分かる努力	18	分からなかったことを友達や先生に聞いたり、調べたりすることができる。		3.29
	改善	6	物事に取り組んだ時に、どうすればもっと良くできるか考えることができる。		3.05
(挑戦する力)	目標への努力	2	夢や目標に向かって、近づくための努力をすることができる。	3.26	3.31
	粘り強さ	5	諦めずに粘り強く取り組むことができる。		3.25
	挑戦	4	失敗を恐れずに挑戦することができる。		3.22
(関わり合う力)	相手の立場に立って考える力	10	自分が相手の立場だったら、どう思うかと想像することができる。	3.30	3.35
	思いやり	9	誰に対しても、温かい心で接することができる。		3.52
	伝える力	11	友達に自分の考え・意見を説明することができる。		3.01
	傾聴	14	話し合い活動の際に、他人の意見を最後まで聞くことができる。		3.52
	相談する力	12	悩んでいることや心配していることを、先生、友達、保護者などに相談することができる。		3.12
	協働	21	自分だけでは解決できない問題について、友達や先生の助けを求めて、一緒に取り組むことができる。		3.39
	地域との関わり	19	自分が学んだことを、自分が住んでいる地域や社会の問題解決に役立てようとするすることができる。		3.23
(コントロール・生活力)	主体性	8	課題に自ら取り組むことができる。	3.28	3.38
	自己肯定感	7	自分の長所・短所を含め、自分自身を認めることができる。		3.02
	規範意識	22	ルールが必要となる理由や、なぜ守らなければいけないかを考えることができる。		3.44

柏市で示す4つのC	土小の6年間で目指す子どもの姿
コンセプト(見通す力)	学んだことを実生活や実社会で活かす コンセプト(振り返り)
チャレンジ(挑戦する力)	目標をもって、調整しながら粘り強く取り組む チャレンジ(粘り強さ)
コミュニケーション(関わり合う力)	他者を認め、他者と助け合う コミュニケーション(協働)
コントロール(自律する力・生活力)	自分を知り、自分を表現する コントロール(自己肯定感)

土っ子の全体的傾向として、コミュニケーション(関わり合う力)3.30ポイント、コントロール(自律する力・生活力)3.28ポイント、チャレンジ(挑戦する力)3.26ポイント、コンセプト(見通す力)3.12ポイントの順にポイントが高くなっています。「自分を知る、地域を知る(コントロール)」ごとに重点をおいた1学期から、総合的な学習(生活科)などで本格的に地域等と関わる2学期に他者と関わりながら協働していくことが影響を与えています。市内平均と比較すると、自己肯定感が特に高くなっており、地域との関わりや協働による相乗効果があったと考えます。

また、相談する力が1学期より向上し、かつ市内平均より高いことから、学年担任制や地域との関わりなど多くの大人が関わることで相談する力を向上させていると捉えています。

次年度も、今年度同様1学期から「自分を知り、自分を表現する」を高め、2学期以降の総合的な学習(生活科)で「他者を認め、他者と助け合う」を高めていきます。さらに、総合的な学習(生活科)については今年度から実践し、教育ミニ集会等で計画したカリキュラムにより、教職員・児童・保護者・地域が見通しをもって取り組むことで、チャレンジやコンセプトの各項目が向上していけると想定しています。引き続き、ご協力の程よろしくお願いいたします。